【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-505656(P2005-505656A)
【公表日】平成17年2月24日(2005.2.24)
【年通号数】公開・登録公報2005-008
【出願番号】特願2003-534498(P2003-534498)
【国際特許分類】
Ｃ０９Ｃ　3/06　(2006.01)
Ｃ０９Ｃ　1/00　(2006.01)
Ｃ０９Ｃ　3/10　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/19　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｃ　3/06
Ｃ０９Ｃ　1/00
Ｃ０９Ｃ　3/10
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成17年9月30日(2005.9.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（ａ）その上に向けられた光線に著しく反射性の第１層、および
（ｂ）第１層を封入し、その上に衝突する光線の入射角に応じて光線に可変性の路程（ｐａｔｈｌｅｎｇｔｈ）を与える可視的に透明な第２の有機層、および
（ｃ）その上に向けられた光線に選択的に透明な第３層、
が封入された小板型（ｐｌａｔｅｌｅｔ－ｓｈａｐｅｄ）基材を含んで成る混成（ｈｙｂｒｉｄ）の無機／有機の色彩効果物質。
【請求項２】
基材が雲母、酸化アルミニウム、オキシ塩化ビスマス、窒化ホウ素、ガラスフレーク、酸化鉄被覆雲母、酸化鉄被覆ガラス、二酸化ケイ素、二酸化チタン被覆雲母、二酸化チタン被覆ガラス、銅フレーク、亜鉛フレーク、銅フレークの合金、および亜鉛フレークの合金から成る群から選択される、請求項１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
【請求項３】
第１層がアルミニウム、銅、金、パラジウム、白金、銀、亜鉛、アルミニウムの合金、銅の合金および亜鉛の合金から成る群から選択される、請求項１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
【請求項４】
第１層が銀、金、白金、パラジウム、ロジウム、ルテニウム、オスミウム、イリジウムおよびそれらの合金から成る群から選択される、請求項１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
【請求項５】
第２の封入層が有機ポリマーである、請求項１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
【請求項６】

第３の封入層が銀、金、白金、パラジウム、ロジウム、ルテニウム、オスミウム、イリジウムおよびそれらの合金から成る群から選択される、請求項１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
【請求項７】
第３層がアルミニウム、銅、ケイ素、二酸化チタン、酸化鉄、酸化クロム、混合金属酸化物、アルミニウムおよびそれらの合金から成る群から選択される、請求項１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
【請求項８】
基材が小板型のガラスフレークであり、著しく反射性の第１封入層が銀であり、第２封入層がポリジビニルベンゼンであり、そして第３の封入層が銀の選択的に透明な層である、請求項１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
【請求項９】
基材が小板型のガラスフレークであり、著しく反射性の第１封入層が銀であり、第２封入層がパリレンであり、そして第３封入層が銀の選択的に透明な層である、請求項１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
【請求項１０】
（ａ）その上に向けられた光線に著しく反射性の第１層を小板型の基材に被覆すること、そして
（ｂ）その上に衝突する光線の入射角に応じて可変性の光線路程を与える、可視的に透明な第２の有機層で第１層を封入すること、
（ｃ）その上に向けられた光線に選択的に透明な第３層で第２層を封入すること、
を含んで成る、混成の無機／有機の色彩効果物質の製造方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４７】
本発明の方法および製品には本発明の精神および範囲から逸脱せずに様々な変化および修飾を実施することができる。本明細書に開示された様々な態様は具体的に示す目的のためだけのものであり、本発明を限定する意図はもたれなかった。
本発明の好適な実施の態様は次のとおりである。
１．（ａ）その上に向けられた光線に著しく反射性の第１層、および
（ｂ）第１層を封入し、その上に衝突する光線の入射角に応じて光線に可変性の路程（ｐａｔｈｌｅｎｇｔｈ）を与える可視的に透明な第２の有機層、および
（ｃ）その上に向けられた光線に選択的に透明な第３層、
が封入された小板型（ｐｌａｔｅｌｅｔ－ｓｈａｐｅｄ）基材を含んで成る混成（ｈｙｂｒｉｄ）の無機／有機の色彩効果物質。
２．基材が雲母、酸化アルミニウム、オキシ塩化ビスマス、窒化ホウ素、ガラスフレーク、酸化鉄被覆雲母、酸化鉄被覆ガラス、二酸化ケイ素、二酸化チタン被覆雲母、二酸化チタン被覆ガラス、銅フレーク、亜鉛フレーク、銅フレークの合金、および亜鉛フレークの合金から成る群から選択される、上記１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
３．第１層がアルミニウム、銅、金、パラジウム、白金、銀、亜鉛、アルミニウムの合金、銅の合金および亜鉛の合金から成る群から選択される、上記１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
４．第１層が銅と亜鉛の合金である、上記１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
５．第１層がアルミニウムと銅の合金である、上記１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
６．第１層がアルミニウムと亜鉛の合金である、上記１の混成の無機／有機の色彩効果物質。

７．第１層が銅である、上記１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
８．第１層が亜鉛である、上記１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
９．第１層が銀、金、白金、パラジウム、ロジウム、ルテニウム、オスミウム、イリジウムおよびそれらの合金から成る群から選択される、上記１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
１０．第１層が銀である、上記９の混成の無機／有機の色彩効果物質。
１１．第１層が金である、上記９の混成の無機／有機の色彩効果物質。
１２．第１層が白金である、上記９の混成の無機／有機の色彩効果物質。
１３．第１層がパラジウムである、上記９の混成の無機／有機の色彩効果物質。
１４．第１層が銅である、上記９の混成の無機／有機の色彩効果物質。
１５．第１層が前記合金である、上記９の混成の無機／有機の色彩効果物質。
１６．第２の封入層が有機ポリマーである、上記１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
１７．第２の封入層がパリレン、ポリテトラフルオロエチレン、ポリビニルアセテート、ポリジビニルベンゼン、エチルセルロース、ポリメチルメタクリレート、ポリビニルアルコール、ポリウレタンおよびポリ尿素から成る群から選択される、上記１６の混成の無機／有機の色彩効果物質。
１８．第２の封入層がポリジビニルベンゼンである、上記１６の混成の無機／有機の色彩効
果物質。
１９．第２の封入層がパリレンである、上記１６の混成の無機／有機の色彩効果物質。
２０．第３の封入層が銀、金、白金、パラジウム、ロジウム、ルテニウム、オスミウム、イリジウムおよびそれらの合金から成る群から選択される、上記１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
２１．第３の封入層が銀である、上記２０の混成の無機／有機の色彩効果物質。
２２．第３の封入層が金である、上記２０の混成の無機／有機の色彩効果物質。
２３．第３の封入層が白金である、上記２０の混成の無機／有機の色彩効果物質。
２４．第３の封入層がパラジウムである、上記２０の混成の無機／有機の色彩効果物質。
２５．第３の封入層が前記合金である、上記２０の混成の無機／有機の色彩効果物質。
２６．第３層がアルミニウム、銅、ケイ素、二酸化チタン、酸化鉄、酸化クロム、混合金属酸化物、アルミニウムおよびそれらの合金から成る群から選択される、上記１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
２７．第１層がスパッター付着層である、上記１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
２８．第１層が無電解めっき層である、上記１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
２９．第２層が水溶液重合沈殿層である、上記１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
３０．第２層が溶媒重合付着層である、上記１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
３１．第２層が化学蒸着層である、上記１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
３２．基材が小板型のガラスフレークであり、著しく反射性の第１封入層が銀であり、第２封入層がポリジビニルベンゼンであり、そして第３の封入層が銀の選択的に透明な層である、上記１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
３３．基材が小板型のガラスフレークであり、著しく反射性の第１封入層が銀であり、第２封入層がパリレンであり、そして第３封入層が銀の選択的に透明な層である、上記１の混成の無機／有機の色彩効果物質。
３４．（ａ）その上に向けられた光線に著しく反射性の第１層を小板型の基材に被覆すること、そして
（ｂ）その上に衝突する光線の入射角に応じて可変性の光線路程を与える、可視的に透明な第２の有機層で第１層を封入すること、
（ｃ）その上に向けられた光線に選択的に透明な第３層で第２層を封入すること、
を含んで成る、混成の無機／有機の色彩効果物質の製造方法。

３５．基材が雲母、酸化アルミニウム、オキシ塩化ビスマス、窒化ホウ素、ガラスフレーク、酸化鉄被覆雲母、酸化鉄被覆ガラス、二酸化ケイ素、二酸化チタン被覆雲母、二酸化チタン被覆ガラス、銅フレーク、亜鉛フレーク、銅フレークの合金、および亜鉛フレークの合金から成る群から選択される、上記３４の方法。

３６．第２層が有機ポリマーである、上記３４の方法。

３７．第２の封入層がパリレン、ポリテトラフルオロエチレン、ポリビニルアセテート、ポリジビニルベンゼン、エチルセルロース、ポリメチルメタクリレート、ポリビニルアルコール、ポリウレタンおよびポリ尿素から成る群から選択される、上記３４の方法。

３８．第２層がポリジビニルベンゼンである、上記３７の方法。

３９．第２層がパリレンである、上記３７の方法。